

日本の実力者たち（3）

今回は、古代の「天皇」「藤原氏」に引き続き、「中世」（ここでは鎌倉時代と室町時代）の「将軍」や「執権」について、まとめていきます。

この時代、もちろん天皇や藤原氏はいますが、「政治的権力」は武士政権である「鎌倉幕府」や「室町幕府」が握ります。ただし、幕府のトップである将軍に実権があったかと言えば、YESとは言い難いのがこの時期の特徴です。鎌倉幕府では執権の北条氏が、室町幕府では三管領・四職が実権を掌握していきますし、戦国時代には群雄割拠状態になりますよね。さらに比叡山延暦寺や興福寺といった寺社勢力も無視できない力を保持していました。

でも、まずは、ここに紹介した「将軍」や「執権」が何をしたのか、彼らの主な業績を確認し、アウトプットを繰り返して、自分のものにしちゃいましょう！！

鎌倉幕府の将軍＝5人

- （1）鎌倉幕府を創設した初代将軍。1180年には侍所を、1184年には公文所（1191年に政所）・問注所を設置し、1185年には平家を滅ぼし、全国に守護や地頭を設置した。
- （2）第2代将軍で、（1）と北条政子の子。勝手な振る舞いが多く伊豆修禅寺に幽閉され、1204年に北条時政により謀殺された。
- （3）第3代将軍で、（1）と北条政子の子。『金槐和歌集』を編纂し、（2）の子の公暁により暗殺された。
- （4）第4代将軍で、最初の摂家将軍（藤原将軍）。子の頼嗣が5代将軍。三代執権北条泰時の時に迎えた。
- （5）第6代将軍で、後嵯峨上皇の皇子である。最初の皇族将軍（宮将軍、親王将軍）であり、五代執権北条時頼の時に迎えた。以後、7代が惟康親王、8代が久明親王、最後の9代が守邦親王である。

（1）源頼朝

（2）源頼家

（3）源実朝

（4）九条（藤原）頼経

（5）宗尊親王

鎌倉幕府の執権：北条氏＝7人

- (1) 初代執権で、北条政子や(2)の父である。1204年に源頼家を謀殺した。
- (2) 第2代執権で(1)の子。1213年に和田義盛を滅ぼし、政所・侍所別当を兼務し、執権の地位を確立した。初代の得宗でもある。
- (3) 第3代執権で、(2)の子である。1225年に連署・評定衆を設置し、1232年には貞永式目(御成敗式目)を制定した。
- (4) 第5代執権で、(3)の孫である。1247年には三浦康村を滅ぼし、1249年には裁判の迅速化と公正を図るために引付衆を設置した。蘭溪道隆を招いて建長寺を開創した。
- (5) 第8代執権で、(4)の子。文永の役(1274)、弘安の役(1281)でモンゴル軍の侵入を阻止した。無学祖元を招き円覚寺を開創した。
- (6) 第9代執権で、(5)の子。1285年には霜月騒動が起こり、1297年には永仁の徳政令を出した。得宗専制体制を確立した。
- (7) 第14代執権、最後の得宗で、(6)の子である。新田義貞の鎌倉攻略で自害した。(ちなみに、最後の執権は16代の北条守時で、その妹が足利尊氏の妻である)

(1) 北条時政	(2) 北条義時	(3) 北条泰時
(4) 北条時頼	(5) 北条時宗	(6) 北条貞時
(7) 北条高時		

室町幕府の将軍＝6人

- (1) 室町幕府の初代将軍。六波羅探題を攻略したが、「建武の新政」に対する武士の不満を背景に中先代の乱で後醍醐天皇から離反した。持明院統の光明天皇を擁立して1338年に征夷大将軍に任命された。
- (2) 第3代将軍。2代義詮の子。1392年に南北朝を合一させ、日明貿易＝勘合貿易(朝貢形式)を始める。室町に花の御所、北山に金閣を造り、武士としては平清盛以来の太政大臣になり、武家・公家・僧侶の世界で頂点に立った。
- (3) 第4代将軍。(2)の子。(2)の始めた日明貿易を「屈辱的である」として、中止した。上杉禅秀の乱を鎮圧。
- (4) 第6代将軍。(2)の子で、天台座主から還俗して「くじ」で将軍になった。鎌倉公方足利持氏を滅ぼし強力な幕府を創出しようとしたが、1441年の嘉吉の乱で赤松満祐により殺された。
- (5) 第8代将軍。将軍継嗣などにより1467年に応仁の乱を引き起こした。子の義尚が9代将軍となった。東山文化を創出した。
- (6) 第15代将軍。織田信長に擁立されて将軍となるが、1573年に信長により追放されたため、室町幕府最後の将軍となった。

(1) 足利尊氏	(2) 足利義満	(3) 足利義持
(4) 足利義教	(5) 足利義政	(6) 足利義昭

※山川出版社の『日本史B用語集』を参考にさせていただきました。